

山千寺観音堂で恒例の観音祭りを開催

連日の猛暑が続く8月2日(日)、山千寺観音堂にて恒例の観音祭りが行われました。当日はコミわか会長、吉区長をはじめ、多くの方々にご来詣いただきました。

前半の法要では、国の重要文化財「銅造観音菩薩立像」を祀り、参列者ならびに若槻地域の無病息災と安寧を祈願する四万八千日法要が、地元地藏院住職によって厳かに執り行われました。



後半は、若槻東条の上原幸善さんによるマジックショーと、櫻井浩章さんがリーダーを務めるバンド「フーターズ」による奉納演奏が行われました。ご来場の皆さんには、暑さを忘れるひとときをお過ごしいただけたことと思います。また、ご本尊の御開帳も行い、間近で拝観いただくとともに、市の指定文化財となっている境内一帯もご覧いただきました。

山千寺観音堂とその境内は、若槻地域に残る貴重な史跡のひとつです。今後も大切に維持保存していくため、地域の皆さんのご理解とご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

(山千寺史跡保存会)



環境学習会「生ごみ堆肥化講座」

さる、8月2日(日)に毎年開催しています環境部主催の『家庭の生ごみを堆肥化してきれいなお花や野菜を作ろう』の講習会が開かれました。コンセプトは「長野市の生ごみを減らす」です。講師は長野市から派遣された、ながの環境パートナーシップ会議のメンバーが指導してくれました。

お話の内容は パワーポイントを使いわかりやすい内容でした。①長野市のごみ処理の現状を紹介 ②食の循環(有機作物と食の健康)で人の体と土壌の役割 ③お料理での工夫で生ごみが減らせる方法 ④生ごみを堆肥に変える方法 ⑤お家で出来る堆肥作り ⑥その堆肥での花や野菜の作り方、など多くのテーマをそれぞれの講師からお話を聞きました。特に家庭で出来る生ごみを堆肥にして有機肥料を作る方法には関心が高く多くの質問がありました。

また、事後アンケートで参加者から、生ごみを減らせば可燃ごみは約半分になる。人は健康の為に有機食品を求めるのと同じく土の中でも植物は化成肥料より有機肥料を求めている。生ごみの堆肥は、有機肥料になる。お料理で捨てていた部分で美味しい食材がある。など関心があつたようです。そして、講師が実践している子供と一緒に農業体験「キッズ生ごみ農園」、ミミズが作る生ごみ処理機「ミミズコンポスト」も紹介されました。

最後に『お家で出来る生ごみ堆肥化セット』(お店で1200円相当)をお土産として持ち帰り それぞれが実践することになりました。

来年は、夏休みの子供さんとの家族参加(自由研究にもなる)も検討しています。子供と一緒に楽しく実践できればいいですね。

(自然環境部会)



広告